

第二次霧島市総合計画(後期基本計画)施策評価シート

令和5年度

政策	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)	SDGs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
施策	3. 快適生活の基盤づくりの推進		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

施策で目指す姿

- 住環境の計画的な整備を推進し、市民が快適さと暮らしやすさを実感し、安心して住み続けられるまちを目指します。
- 幹線道路のバイパス整備、地域の拠点施設を結ぶアクセス道路の整備など、市内の道路網の強化や円滑な交通環境の確保を目指します。
- 社会情勢の変化に適応しながら、自然や産業等、地域の特性を生かした土地利用、景観の形成を図ることで、安全・快適に生活し続けられるまちを目指します。
- 上下水道施設等の計画的な整備・改修、耐震化等や、適切な排水処理施設への転換・接続を図り、水の安定供給と適正な排水処理を目指します。

基本事業における成果・課題・改善策

1. 良質な住環境の整備	決算額(一般財源)	1,862,957千円 (1,862,957千円)
令和5年度の事業成果	令和5年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和6年度以降の改善策
<ul style="list-style-type: none"> ● 市営住宅の外壁等の改修2棟、老朽化した設備等の改修1棟を行い、市営住宅の長寿命化が図られた。 ● 複合遊具等を更新し、公園施設の長寿命化が図られた。 ● 土地区画整理事業区域内の工事等を行い、事業の進捗を図った。 ● 木造住宅1棟、大規模建築物1施設1棟に対し、耐震改修費用の助成を行い、耐震性が確保された。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 限られた予算内で引き続き、市営住宅の長寿命化を図る。 ● 老朽化の進む公園の遊具については、国の補助事業を活用しながら、適切な更新を図る。また、老朽化の進む丸岡公園の施設等を更新し、公園の魅力向上を図る。 ● 交付金等の財源確保に努め、引き続き面整備の推進を図る必要がある。 ● 今後も建築物の耐震化の普及啓発を行う。 	<p>交付金等の財源確保に努め、限られた予算を有効活用し、市営住宅の長寿命化、公園施設の更新、土地区画整理事業の推進等を引き続き図る。</p>
2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持	決算額(一般財源)	1,789,359千円 (1,789,359千円)
令和5年度の事業成果	令和5年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和6年度以降の改善策
<p>福島6号線、国分中央高校～国分郵便局線の事業が完了し、その他事業中路線についても、事業の進捗が図られた。また、限られた予算内で、道路施設の維持管理に努めた。</p>	<p>国、県と連携した市内の渋滞解消に向けた取組や地域拠点を結ぶための道路整備、道路施設の適切な維持管理が求められている。</p>	<p>今後も国・県道整備に関する要望を行うとともに、引き続き事業中路線の整備を進め、また、道路施設の適切な維持管理に努め、市内の道路網の強化や円滑な交通環境の確保を目指す。</p>
3. 計画的な土地の活用と良好な景観づくり	決算額(一般財源)	239,544千円 (239,544千円)
令和5年度の事業成果	令和5年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和6年度以降の改善策
<ul style="list-style-type: none"> ● 土地利用協議での適正な規制・誘導や建築行為に対する的確な検査の実施により、無秩序な開発を防止することができた。 ● 景観法及び市景観条例に基づく景観計画区域内行為届出を適切に審査し、風致を維持し、良好な景観の保全ができた。 ● 空家の適正管理の普及啓発を行い、また、老朽化した危険な空家の除却費用の一部を助成し、16棟の老朽化した危険な家屋が解体された。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地利用協議で適正な規制・誘導を行うことや建築行為に対する必要な申請を促し、関係法令への適合性について審査や検査を的確に行うことにより、無秩序な開発等を防止する必要がある。 ● 市景観条例や市景観計画の周知に努め、良好な景観の保全のため、市民や事業者に協力を求める必要がある。 ● 協定を締結した民間企業のサービスを活用しながら、更なる空家の適正管理の普及啓発を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、土地利用協議で適正な規制・誘導を行うことや建築行為に対する必要な申請を促し、関係法令への適合性について審査や検査を的確に行うことにより、無秩序な開発等を防止する必要がある。 ● 市景観条例や市景観計画の周知に努め、良好な景観の保全のため、市民や事業者に協力を求める必要がある。 ● 今後も空家の適正管理の普及啓発を行い、併せて、撤去補助制度を活用し、危険家屋の解体を進める。
4. 水の安定供給と適正な排水処理	決算額(一般財源)	1,033,908千円 (1,033,908千円)
令和5年度の事業成果	令和5年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和6年度以降の改善策
<ul style="list-style-type: none"> ● 下水道の整備については、工事を進めたことで、整備面積を2.1ha広げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 下水道事業については、社会経済状況の変化等により計画通りの整備が進まず、当初の事業計画に対して遅れが生じている。そのため、2018(平成30)年8月に策定した「霧島市下水道事業経営戦略」及び2019(平成31)年3月に県が策定した「かごしま生活排水処理構想2019」等を踏まえる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 下水道事業の適正かつ合理的な運営及び健全な経営に努めると共に、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上を図り、公共用水域の水質の保全に資するため、計画的に整備及び施設の維持管理を行う。 ● 老朽化した処理場設備の更新のため、下水道事業全体の最適な維持管理・改築計画であるストックマネジメント実施設計を進めている。

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
29. ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合	市民意識調査	-%	-	未把握
		66.8%	↑	
30. 都市公園内の更新・新設した公園施設数(累計)	建設施設管理課所管の公園施設の整備状況(N-1)	23件	33.33%	年3県程度の整備を目指していたが、目標以上の整備を行うことができた。
		35件	↑	
31. 市道の改良率	市道の規格改良済の延長／実延長(N-1)	48.5%	33.33%	年0.1ポイント程度の増加を目標としていたが、目標以上の増加となった。
		48.9%	↑	
32. 地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合	市民意識調査	-%	-	未把握
		50%	↑	
33. 生活排水処理率	市生活排水対策推進計画(下水道接続人数＋合併処理浄化槽接続人数)／総人口(N-1)	84.3%	42.22%	下水道への接続については、住民等に工事説明会等で下水道の利点を説明し、接続を促した。
		89.5%	↑	

施策としての改善方針

市民が快適さと暮らしやすさを実感し、安心して済み続けられるまちを目指すため、社会基盤の整備を進めていく必要がある。また、無秩序な開発等の防止、良好な景観保全のため、空家の適正管理など市民や事業者と協力を求める必要がある。

施策幹事課	関係課
建設部建設政策課	総務部財産管理課 / 企画部DX推進課 / 市民環境部市民活動推進課 / 市民環境部環境衛生課 / 農林水産部林務水産課 / 商工観光部商工観光施設課 / 建設部建設施設管理課 / 建設部土木課 / 建設部建築住宅課 / 建設部建築指導課 / 建設部都市計画課 / 建設部区画整理課 / 霧島総合支所市民生活課